

(法第26条第1項関係様式)

令和元年度 事業報告

令和元年度事業計画に基づき以下のとおり事業を実施し、令和2年度5月に新型コロナウイルス感染症による、集会等自粛要請に基づき、総会議案書を隊員送付隊員より承認書返信を受け、監査報告書を添付して当該事項に関わる決算書を諮ったところ議決されたので報告します。

特定非営利活動法人 瀬田川リバブレ隊

1. 事業成果

令和元年度総会で報告された『令和元年度事業計画』を基に理事会の方針に基づき事業を実施した。

1) 高橋川清掃活動瀬田川清掃

毎月25日定例清掃活動日、高橋川流域清掃活動は平成18年7月より大津市エコフオスター事業に参加、当初はリバブレ隊が毎月25日を活動日と定め活動を開始、次第に地域住民有志の方が協力参加頂けるようになり、最近では積極的に住民の方々が清掃日前日より除草作業を行って頂き参加地域に定着した月次行事となりました。元年度は瀬田南小学校協力による、ゴミ捨て防止啓蒙ポスターの制作を河川柵に掲示。他に近隣つくし保育園児の幼児教育&保育園父兄の参加も得てが、河川周辺、遊園地付近のゴミ拾い等我々と共に実施頂き、地域環境美化活動への協理解となる。県立瀬田工業高校化学部の協力により、高橋川の水質調査を6月～11月間実施頂き、綺麗な水質と確認頂きました。元年度は延べ活動参加人数82名と園児、父兄。回収ゴミは可燃ゴミ、750袋225袋、不燃ゴミ、ペットボトル、缶瓶等、その他不法投棄大型ゴミ自転車等も回収致しました。

2) 瀬田川清掃及びコムラサキシキブ維持管理

毎月10日定例清掃活動日。コムラサキシキブはリバブレ隊発足時に、紫式部にちなみ瀬田川左岸京滋バイパス高架下河川敷に植樹。当初は隔月にコムラサキシキブ維持管理が主な活動でしたが、22年2月よりコムラサキシキブ植樹地区上流から下流域まで拡大して、毎月10日を活動日と定めて実施。次第に遊歩道の地元有志の方、レイカディア大OB、淡海を愛する釣り人の会等の団体の参加となり。コムラサキシキブ維持管理及び花壇の整備、河川敷遊歩道除整備作業、川岸の浮遊ゴミ、藻の回収等実施により散策者等より好評をえています。元年度は97名、ゴミ回収は可燃ゴミ750袋149袋、不燃ゴミ、ペットボトル、缶瓶等回収、その他不法投棄大型ゴミでした。又26年3月には、国交省近畿地方整備局より「河川協力団体」の指定を受け継続中。

3) その他清掃活動

琵琶湖の日元年は7月1日に滋賀県主催、大津市ピアザ淡海湖岸で、県、市等行政機関、企業等参加、リバプレ隊は協力参加しました。他琵琶湖の日、琵琶湖環境美化の日等にも参加。10月末には、琵琶湖河川事務所主催瀬田川一斉清掃活動に参加、名神高架下～水天宮バス停付近

11月30日、守山市セブンの森清掃活動に参加。滋賀県、守山市、環境団体、セブンイレブン記念財団との協定による、琵琶湖岸清掃活動に協力参加

3) 第13回 河川を愛する市民会議

2005年(平成17年)に河川を愛する市民会議を開催してから今回で13回の節目の開催を致しました。河川を愛する市民会議は毎年同じ「ふるさとの美しい川を取り戻す為に私たちに何が出来るか」をメインテーマに実施してきました。令和元年は、琵琶湖・瀬田川のゴミ問題について討議頂きました。今回は「琵琶湖の現状について」行政面、漁業者側からの説明を受け、参加者と共に検討会議を行いました。

講師

三和 伸彦 氏 滋賀県 県技監・琵琶湖保全再生課長、石川 可奈子 氏 滋賀県環境科学センター専門研究員、澤田 宜雄 氏 滋賀県漁連専務理事

日時 9月21日(土) 場所 ウォーターステーション琵琶

参加者 リバプレ隊員 10名 一般参加 28名

4) 市民会議パートII現地見学会

9月に実施した、河川を愛する市民会議のパートIIとして現地見学会を開催。市民会議でのテーマであったゴミ問題に関係した、場所を訪問見学、訪問先で講師より、説明講演を受け、参加者より質疑応答を行い、今後の我々の活動の研修に実施。

訪問先 草津市 矢橋帰帆島、守山市 中州公民館、草津市立命館大学草津キャンパス
講師

北村 元一 氏 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター事務局長

小高 茂治 氏 国土交通省琵琶湖河川事務所野洲川出張所長

田中 周平 先生、京都大学 大学院地球環境学堂准教授

日時 11月25日(月) 参加者リバプレ隊10名、一般参加31名

チャーターバスで、石山駅前を9時30分に出発、草津矢橋帰帆島 湖南中部浄化センター横、公益財団法人 滋賀県地球温暖化防止活動推進センターを訪問、事務局長 北村元一氏より概略説明を受け、館内を見学、その後北村事務局長より、「琵琶湖の水草について」講演を聞く。次の目的地、守山市中州公民館へ向かいました。中州公民館では、小高 茂治 氏より、野洲川放水路について説明を受け、昼食後草津市立命館大学に向きました。校内に有る、古代の製鉄コンビナート遺跡を見学、見学後、京都大学 田中 周平先生「オオバナミズキンバイの効果的な駆除手法の開発、マイクロプラスチックと私達の生活」について講演を頂きました。有意義な、現地見学会で参加者より、好評を得ました。

5) 瀬田川流域及び流入河川水質調査

6月2日(日)実施、参加者8名、場所 瀬田川他6河川23ヶ所で実施

毎年6月第一日曜日に実施される、全国一斉水質環境調査(河川)に参加、瀬田川リバプレ隊は瀬田川他流入河川7河川23定点地点でCOD値、気温、水温目視透明度の測定を実施しました。天候は晴れ、水温17℃~22℃、COD値は1~6mg/lでした。尚高橋川に於いては、瀬田工業高校化学部の協力をえて、7月~12月まで毎月水質調査を実施依頼しました。高橋川は綺麗な水と判定されました。

6) 琵琶湖南湖岸 清掃活動

淡海を守る釣り人の会その他との 協力

琵琶湖・瀬田川等で釣り愛好者グループが釣りを楽しんだ後、琵琶湖周辺に散乱しているゴミを問題視して、リバプレ隊等に清掃美化活動への参加依頼を受け、協働活動として活動開始。

実施日: 4月14日他

参加団体は淡海を守る釣り人の会、コハクチョウを愛する会、ウォーターステーション琵琶の会、県、草津市、河川事務所等と協働にて草津市志那湖岸に漂着ゴミ、ペットボトル、レジ袋、缶瓶等回収活動を実施。30年度は3回行い参加者回数を追うごとに参加団体参加者共に多くなり湖岸や琵琶湖・瀬田川流域への流出ゴミ減少とゴミ捨て防止への広報活動となりました。80名~110名参加あり

7) 出前講座木工教室等

4月27日他14回実施 体験参加者262名

8) 各地区小学校、自治会子供会、環境団体等の依頼により、出前講座と木工教室を29年度は18回実施しました。水源地から琵琶湖までの水環境について里山の役割と山林の保全の関係と間伐の必要性説明を行い、材料は間伐材や廃材を使用しての木工教室(フクロウ作り)指導説明を実施しました。

9) 瀬田川左岸ヨシ刈り&研修会 2月2日(土)19名参加

瀬田川左岸名神高架下付近に、小規模なヨシ帯があり、淡海を守る釣り人愛好者、琵琶湖工事事務所等協力により、付近の環境美化活動とヨシの保護育成の為、毎年ヨシ刈り及び周辺清掃を実施、ヨシ刈り終了後に滋賀大学環境学習支援士会、橋田代表より、支援士会の状況説明、支援士会は琵琶湖の環境を学び、琵琶湖を愛し、次の世代へ残していくために、森・川・里・湖をとり戻す出前授業、うみのこ、川の学校、山の子等事前、事後学習支援や情報発信等実施の説明を受けました。

9) 子供環境学習 2年2月12日 参加者 子供、引率者含む50名

行先: 滋賀県立琵琶湖博物館

子供達を対象に環境学習会を行い、子供達に琵琶湖の生き物や魚等及び、昔の生活などを見て、聞いて環境問題や、生態系保全活動について学習会を行い、次世代への引継ぎとして実施。

10) 外来魚駆除釣り大会

県主催外来魚駆除釣り大会 7月7日

協力事業参加釣り指導400名程参加

近江八幡市安土町街づくり協議会7月、企業と共催 MS&AD損保会社10月共天候不良により開催中止

11) その他

1. 4月14日：滋賀大学 環境学習支援士会発表会参加
2. 8月31日：びわコミ会議参加
3. 9月14日：野洲川放水路通水40周年シンポジウム参加
4. 10月5日：いい川づくりワークショップ参加
5. 12月7日：片平敦さんトークショー参加
6. 1月25日：山の健康 シンポジウム参加
7. 2月 1日：大津市の環境 意見交換会参加
8. 2月29日：近畿河川フォーラム参加等

1 2) 事業の実績に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の 人数	受益者 対象者	支出額 (千円)
高橋川清掃	高橋川清掃と 再生	毎月 25日	高橋川	83名		43
コムラサキ 維持管理	瀬田川清掃と コムラサキ 維持管理	毎月 10日	瀬田川左岸	97名		14
河川を愛す る市民会議	市民団体の ネットワーク	令和元年 9/21	大津市 南郷ウォー ターステー ション琵琶	4名	34名	30
現地見学会	環境保全活動 地区見学研修	令和元年 11/25	草津市 淡海環境プ ラザ 守山市中州 公民館 草津市立命 館大学	4名	37名	145
河川 水質調査	瀬田川他 流入河川 水質調査	令和元年 6/2	瀬田川他 流入河川	6名		4
外来魚駆除 釣り大会	外来魚駆除 釣り大会により 生態系保全活動	令和元年 7/7 他	琵琶湖	8名	20名	37
大石 生き物調査	大石地区環境 保全活動普及 子供達生き物 観察	中止	瀬田川下流 大石地区	名	名	中止
瀬田川左岸 ヨシ刈り	ヨシ刈りと 環境研修会	H31 2/3	瀬田川左岸 名神高架下	名		中止
出前講座	里山と水環境 からの木工教室	随時 18回	滋賀県下 各地	8名	262名	161
子供 環境学習会	子供達に次世代 引き継ぐ活動	令和2年 2/12	京都 水族館他	2名	48名	45
他団体参加 便り発行他	事業参加費 広報他	随時 隔月				30 22

平成31年・令和元年度 収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 瀬田川リパブレ隊

理事長 伊藤 達也

(単位:円)

科 目	金 額		
(資金収入の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金			
会費入金	60,000	60,000	
2 事業収入			
木工教室指導料	70,800		
現地見学会参加料	15,500		
外来魚釣大会指導料	17,500	103,800	
3 助成金・補助金			
公益財団法人 河川財団	413,570		
一般社団法人 近畿建設協会	190,000		
大津市	24,995	628,565	
5 その他			
行事参加費・交通費受入	11,740		
清掃作業費等受入	1,650		
郵便貯金・銀行預金利息受入	20	13,410	
資金収入合計			805,775
(資金支出の部)			
II 経常支出の部			
1 事業費			
こども環境学習会	45,100		
瀬田川・高橋川草刈り・清掃	57,158		
水環境調査	4,000		
現地見学会	144,611		
木工教室	160,930		
河川を愛する市民会議	28,794		
外来魚 釣り大会	26,800		
他団体への行事参加	29,582		
リパブレ便り発行他	22,196	519,171	
2 管理費			
一般管理費	337,634	337,634	
経常支出合計			856,805
(正味財産増減の部)			
III 当期正味財産増加額			-51,030
前期繰越正味財産額			2,093,994
次期繰越正味財産額			2,042,964

平成31年・令和元年度 事業会計貸借対照表
令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人瀬田川リバプレン隊

理事長 伊藤 達也

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
手許現金	3,515	
郵便貯金	1,364,157	
普通預金	675,292	
流動資産合計		2,042,964
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		2,042,964
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,093,994	
当期正味財産増加額	-51,030	
正味財産合計		2,042,964
負債及び正味財産合計		2,042,964

平成31年・令和元年度 財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人瀬田川リパブレ隊

理事長 伊東 達也

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手元有高	3,515		
郵便貯金 大津神領郵便局	1,364,157		
普通預金 滋賀銀行瀬田支店	675,292		
流動資産合計		2,042,964	
2 固定資産			
固定資産合計			0
資産合計			2,042,964
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計			0
2 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産合計			2,042,964